

精華町教育委員会会議録

平成 2 8 年（第 4 回）

1 開 会 平成28年4月27日(水) 午前10時00分
閉 会 平成28年4月27日(水) 午前12時00分

2 出席委員 伊藤委員長 中谷委員 蓑毛委員 細川委員
太田教育長

3 出席事務局職員

岩崎教育部長	北澤総括指導主事
竹島学校教育課長	仲村生涯学習課長
森川図書館長	山崎学校教育課係長

4 傍聴者 なし

5 議事の概要

(1) 開会

開会にあたり、熊本地震で被災された方の早い回復、犠牲になられた方の冥福を祈り、委員長から第4回教育委員会の開会を宣言。

(2) 前回会議録について

教育部長から平成28年第3回教育委員会の会議録について説明。

【意見等】

太田教育長 非公開となった9号議案(平成28年度精華町奨学生及び精華町社会福祉奨学生の決定について)の採決について、全員挙手により原案どおり決定したとの旨を明記していただきたい。

【採 決】

・全員承認。

(3) 教育長報告事項

① 平成28年度の新体制について

特に教育支援室の設置については、4月から総括指導主事が部長級の位置づけとなり、教育支援室長を兼務するという形で発足した。業務内容とし

ては、教育相談及び学校支援の大きく2つに分類される。教育支援室として設置されたが、内容の充実をはかることが必要なことから、スクールカウンセラーまた町の顧問弁護士との連携等々について検討を進めているところである。準備調整を含め本格的なスタートは夏頃を予定している。本格稼働までの間も相談には応じることとしており、適宜対応していきたいと考えている。

② 府内市町（組合）所管教育委員会教育長会議について

i 新教育委員会制度について

京都府教育委員会については昨年7月に新制度に移行しており、活性化の1つとして、府教育委員と市町村教育委員会の懇談会が始まった。今後も学期に1回は話し合いの場を設けたいとの話である。

ii 教育基本計画について

平成23年度に10年計画で策定した教育基本計画について、これまでの社会変化、教育再生会議からの8つの提言を踏まえ、後半の5か年についての計画見直しがまとめられた。

今年度は今までの「連携」に加え、「協働」の姿勢を重点事項として取り組みたいとの事で次の3点を意識している。1つ目は子どもの貧困対策について、京都では就学援助率は高い傾向にある一方で、学力については一定の成果が見られる。モデル事業などを通して実践に活かしてほしい。2つ目は少年非行の問題について、京都府では犯罪率は高いといわれてきたが、6年連続で減少しており、また再犯率も全国3位から13位と、改善されてきた。その反面薬物問題については顕著になってきているため、根絶を目指したい。そのためにもきめ細やかな指導をお願いしたいとのこと。3つ目は民主主義の発展に係る課題について、20代の投票率の低さからも分かるように、若者の社会参画意識が低いことから主権者教育を進めていく必要がある。また主権者教育を人権教育の視点から考えていきたいとの事であり、今後は指導においても参政権について重視していただきたい。

iii 教員定数の問題について

国の財源の問題から、文科省と財務省で議論が熱を帯びている。来年度予算に向けては教員を増やすことによってこれだけ成果が出るといったデータが欲しいとの要請があった。

iv 馳プランについて

昨年１２月に開催された中央教育審議会の答申に基づき発表された馳プランについては、地域とのつながりによる一億総活躍社会の実現を狙いにしており、学校が地域の核となり地域活性化を促していくことが必要となる。

③ 表彰関係について

平成２８年度子どもの読書活動優秀実践図書館として、精華町立図書館が文部科学大臣表彰を受賞した。

（４）議決事項

議案第１３号 精華町社会教育委員の委嘱について

教 育 部 長 【提案説明】

社会教育委員について、新たに南稲八妻在住の堀内保寛様を提案する。経歴としては、現在精華町文化協会事務局次長として、また平成２７年度より南稲八妻区の自治会長も務めておられることから、本町の社会教育に対し、すぐれた知見を有する方であるとして提案するものである。

任期については、平成２８年５月１日から平成３０年３月３１日まで。

（採決　－　全員挙手により原案どおり決定）

議案第１４号 精華町スポーツ推進委員の委嘱について

教 育 部 長 【提案説明】

スポーツ推進委員について、新たに祝園西在住の浅井恵美子様を提案する。長年のバレーボール経験を生かし、スポーツの実技指導や住民のスポーツの振興のための指導助言など、本町におけるスポーツの拡大、発展に大きく貢献いただける方として提案するものである。

任期については、平成２８年５月１日から平成３０年３月３１日まで。

伊藤委員長 今回提案の方は、現在バレーボールチームなどで活動されているのか。

生涯学習課長 小・中・高校、また社会人でもバレーボールの活動経験がある。現役としては退かれているが、今回のスポーツ推進委員に対しても意欲的である。また、他の精華町スポーツ推進委員からの推薦もあることから、今回提案させて頂いた。

(採決 ― 全員挙手により原案どおり決定)

(5) 諸報告

教育部長 1 精華町教育委員会の職員体制について

(1) 学校教育課について

学校教育課については、この間の多種多様化する教育を取りまく厳しい状況や、それに伴う増加する業務量の課題もあり、今回課長及び非常勤嘱託職員を含め8名体制から正規職員を1名増員し、9名体制とした。非常勤の管理栄養士についても引き続き任用している。

(2) 教育支援室について

学校教育課内に新たに教育支援室を設置した。総括指導主事を室長とし、4人の指導主事と併せ5人体制となっている。なお、指導主事については1名を増員し体制の充実を図っている。

(3) 生涯学習課について

精華町の歴史、文化の情報の発信、デジタルミュージアムに取り組んでいくため、新たに学芸員を1名任用し、体制の充実を図ることとした。

総括指導主事 1 生徒指導報告について

(1) 小学校の問題事象について

3月について、インターホンの線を切ったことによる器物破損1件1名、悪口による嫌がらせが1件5名、不登校が11名。不登校については、2月度が14名であったので、今回3名の減となった。

年間では、年間30日以上欠席した児童が男子8名女子8

名の計 16 名という結果になった。25 年度が 5 名、26 年度が 13 名と年々増加傾向にある。出現率を表してみると、27 年度が 0.66%、26 年度が 0.52%、26 年度の全国平均が 0.4%（27 年度の全国平均は未発表）であり国の基準よりも高いことが分かる。また増加率についても中学校を上回っている。

（２）中学校の問題事象について

3 月について、授業エスケープが 2 件、不登校 26 名という結果であった。不登校について、2 月時の 34 名から減少しており、学校・家庭において努力いただいているところである。

年間では、年間 30 日以上欠席した生徒が 35 名となっている。25 年度が 21 名、26 年度の 33 名と、中学校においても増加傾向にある。出現率で比較してみると、27 年度が 2.85% 26 年度が 2.59% 25 年度が 1.6% とこちらも増加傾向にあり、26 年度については全国平均 2.7% に近い数字となっている。

総括指導主事 2 いじめ事象に関して

（１）小学校

27 年度におけるいじめ件数について、第 1 段階が 353 件、第 2 段階が 1 件となった。

第 1 段階については幅広く把握、集約するとのことで認知件数を上げている。いじめの態様別では、「金品をたかられる」が 8 件と、26 年度の 23 件よりも減少しており、また「パソコンや携帯電話で、誹謗中傷や嫌なことをされる」が 2 件と、26 年度の 7 件よりも減っており、小学校での取り組みの効果があらわれていることが窺われる。

第 2 段階の 1 件については、当該生徒が卒業してしまったこともあり、双方の謝罪には至らなかったため、未解消となっている。

（２）中学校

第1段階については全体が75件であり、態様別では「金品をたかられる」が1件となっており、26年度の7件より減少している。「パソコンや携帯電話で、誹謗中傷や嫌なことをされる」では4件と、26年度の2件から増える結果となったため、この部分については、課題認識をし各学校で取り組んでいかなければならないと考えている。

総括指導主事 3 中学校卒業生徒進路状況について（速報）

私立高校が111名で全体の27.4%、公立高校が264名で全体の65.2%という結果であった。傾向としては昨年度よりも公立高校へ進学した生徒が増え、私立高校へ進学した生徒が若干名減った。山城通学圏の公立高校及び難関公立高校についても増加しており、全体的に公立高校への志向が高まったことがうかがえる。

総括指導主事 4 各学校の研究指定等について

山田荘小学校の研究開発事業は4年経ったので、昨年度で終了した。精華中学校のコミュニティースクールについては国から補助は少ないものの、今年度も継続実施することとなった。精華西中学校では、11月10日に京都府中学校教育研究会美術科研究発表会があり、準備を進めていくところである。その他については大きな変化なし。

学校教育課長 1 第24回ふれあいまつりについて

5月15日にかしのき苑にて福祉の輪を町全体に広げるという取り組みのもと、ふれあいまつりが開催される。是非ご参加いただきたい。

学校教育課長 2 夏季の軽装勤務期間及び冷房期間について

5月1日から10月末まで軽装・エコスタイルという形で取り組んでいく。夏季の冷房の稼働時間については6月1日から9月末まで28度設定で運転が稼働される。

生涯学習課長 1 精華町社会教育委員会からの提言について

精華町社会教育委員が委嘱の2年間において検討議論され

ていた提言が、「家庭教育の充実」「青少年の健全育成」というタイトルで平成28年3月に冊子で提出された。背景、現状、今後どういったものが求められているのか等を分野ごとに纏められており、教育委員会としても今年度以降重視させていただく。今年度は社会教育委員からの提言はないが、今回の提言の進捗を検証する年になると思われるので、我々もその提言に従って実施していきたいと考えている。

生涯学習課長 2 あいさつ運動の日程について

拡大あいさつ運動を、6月期（6/1・2・3）9月期（9/1・2・5）1月期（1/10・11・12）の予定で開催を考えている。学校においては時期がずれるところもあり、次回の教育委員会にて資料等提供させていただきたい。

生涯学習課長 3 ツアー・オブ・ジャパンの取組状況の進捗について

5月30日に京田辺市と精華町域を結び実施される予定であり、当日京田辺市では普賢寺ふれあいの駅にて開会式等が行われ、精華町では、けいはんなプラザ前において、物産展、京都廣学館高校による吹奏楽演奏、セレモニー、閉会式等を予定している。観客動員数は3万人を見込んでおり、町の体制や職員の動員については現在検討中である。

生涯学習課長 4 打越台テニスコート改修について

打越台テニスコートの芝生の張りかえ及び照明設備の交換に係る補助金について、事業総経費3,300万円（芝生の張りかえ1,300万円・照明設備の交換2,000万円）の申請をしたところ、補助の決定額が1,100万円ほどであった。内訳としては、照明設備の交換のみ採択され、芝生の張りかえについては不採択となった。芝生の張りかえについても町単費執行できるよう内部調整中であり、その結果について次回の教育委員会で提案させていただきたい。

生涯学習課長 5 精華町少年少女合唱団と合唱団Rinteの共同コンサートについて

今年度10周年を迎える精華町少年少女合唱団と20周年を迎える合唱団Rinteが、6月26日けいはんなプラザメイ

ンホールにて14時から共同でコンサートを開催する。チケット販売については一般が1,000円となっている。

生涯学習課長 6 文化フェスティバルについて

文化協会の15周年記念事業として6月18日・19日に文化フェスティバルを開催する。むくのきセンターのアリーナ及び多目的ホールにて展示・舞台発表を行う。

図書館長 1 子どもの読書活動優秀実践校・図書館・団体の文部科学省表彰について

精華町では図書館開設以来、子供の読書、児童サービスに力を入れてきた。平成18年度には「読書で描こうせいか未来図～精華町子どもの読書活動推進計画」を策定し、現在では第三次計画の取り組みを進めており、こうした経緯から子供の読書環境整備について図書館が中心となって役割を果たしていることもあって、今回の表彰をいただいたと考えている。

今回表彰の対象となったのは、全国の学校で141校、図書館で48館、団体では58団体。授賞式が4月23日の子どもの読書の日に行われ、当日出席し、表彰状をいただいた。

【委員の意見等】

伊藤委員長 二つの提言「家庭教育の充実」「青少年の健全育成」について、今後、どのような進め方を考えているのか。

生涯学習課長 教育大綱からその実施計画ともなる指導の重点の中から、この提言と指導の重点とを見比べ、いかに整合させるか、中身の具体的な取り組みを進めていくかを考えていきたい。

伊藤委員長 精華町の少年少女合唱団について、過去に有料で開催されたことがあったのか。

生涯学習課長 単独ではなかった。

細川委員 携帯電話の危険性についての指導を本年度も早めから行っていただきたい。

総括指導主事 生徒会や児童会のほうから携帯電話使用に関するルール作りをしてもらうように仕掛けづくりを考えている学校もある。

- 細川委員 現1年生で入学当初から既に不登校状態である児童の報告はあるのか。
- 総括指導主事 全く登校出来ていないという報告はない。
- 中谷委員 社会教育委員からの提言「青少年の健全育成」について、関連団体の活動内容として、地域で子供を育てる連絡協議会があるが、構成される各団体には今回の提言の内容は伝わっているのか。
- 生涯学習課長 まだであるが、5月に第1回の地域で子供を育てる連絡協議会を開催する予定であるので、その場で報告させていただきたいと考えている。
- 伊藤委員長 児童生徒の事象問題については卒業後もしっかりと気を配ってケアしていただきたい。また、事例を教員全員で共有し、小中で連携を図っていただき、今後も進めていただきたい。
- 教 育 長 卒業した児童については、元気に学校に行っているという事で保護者と連絡を取っており、しっかりとアフターフォローを行っている。この他にも困難な課題など校長会での協議を行うなど、町全体の問題と捉え、引き続き努力していかなければならないと考えている。

(6) 後援関係

3月から4月に受け付けた教育委員会後援事業の報告は、総数3件、学校教育課関係は0件、生涯学習課関係が3件、うち社会教育係関係が3件、図書係は0件、社会体育係関係は0件。

(7) 5月の行事予定

(8) 閉会

委員長が第4回教育委員会の閉会を宣言。